

記

一 会社側ノ状況

会社側ニ於テハ争議因ヨリノ要求ニ対シ抗議ノ結果別記ノ如ク一人当リ最低百五十円最高五百三十六円ニシテ人負三十一名ニ対シ合計七千六百三十四円ヲ解雇手当トシテ給付方發表シ神谷工場ニ極力斡旋人ヘク懇諭シ下記ノ如ク交渉中ナリ
ニ 争議因側ノ動靜

争議因ハ依然日本化学指導ノ下ニ争議継続中ナルカ次記ノ通り日本化学ト連絡ニ当レル因負ノ檢挙ニヨリ統制稍急シタリシカバ氣勢ヲ拳クベク別添(内相閣下ノ之)ノ如キ傳單ヲ配布セシトシタルニヨリ之レヲ阻止セリ

三 交渉状況

本月廿三日伍四時ヨリ橋場工場ニ於テ

会社側 遠藤 清水両取締役

争議因側

津本

柳田

津田

斎藤

外女

二名

会見シ

争議因代表津本ヨリ 引受神谷工場及當場ニ於テ何名位採用セラル、又及争議因負中家夜ノ事情ニヨリ特ニ生活困難ナル者ト然ラサル者トアルニヨリ争議因側ヨリ送金推薦スル者ヲ採用セラレタレト前提シ左ノ函要求書ヲ提出ス

一 解雇手當五万円

○ 別記ノ通發表

又 争議費用ノ負担

○ 会社モ全額ニ付持引ニス

ハ 争議中日給全額負担

○ 右 会

ニ 神谷工場ニ採用スル場合ハ解雇者ニ優先權ヲ與ヘ

○ 全負解雇ニ付相當長カスベシ

ホ 結城氏所業ニ依ル負擔重態ニ付相當ノ見舞金ヲ出サレタリ